

報道関係各位

No. BZ0910-02

2009年 10月 30日

新型インフルエンザの大流行に備え、 全社員が2日間に渡って在宅勤務を実施

—インターネット電話・メール・メッセージャーを使って手軽に実現。

—育児休暇中や療養中社員への応用も可能—

13年、9,000台超の稼働実績を持つ専用サーバホスティング「at+link 専用サーバサービス」やIP ビジネスフォンを中心としたさまざまなインターネットサービスを提供する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田元治、以下リンク）は、想定される新型インフルエンザの大流行（パンデミック）に備え、10月21日・22日の2日間に渡って全社員（59名）が在宅で業務を行う演習を実施しました。



↑在宅勤務演習中の社内風景。だれも出社していませんが、業務は進んでいます。



←自宅で業務を行う様子。持ち帰ったPCや個人のPCから会社の環境へ接続して行っています。

◆在宅勤務の演習を行った経緯

新型インフルエンザの予防として消毒液の設置や手洗い・うがいの励行を行っていても、大流行時の業務継続については対策が講じられていない企業が多いのが現状です。リンクは、インターネットインフラ系のサービスを提供していることから業務継続を義務と捉え、早急な対策が必要と考えてきました。9月17日に第一弾として、インターネットを使ったサービスを組み合わせて利用することで在宅勤務が実現できるかという実験を行い、今回は第二弾として、2日間連続でどこまで会社での業務状況に近づけられるかという検証を行いました。

◆業務内容と在宅勤務における課題

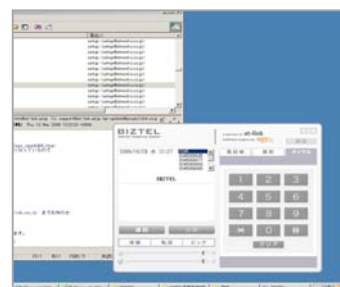
リンクは、専用サーバホスティングの営業窓口であるほか、IP電話などのインターネットサービスの開発・提供を行っています。主な業務内容は、顧客からの問い合わせ・申し込みの受付、サポートスタッフへの手配や製品発注、客先への訪問、システム開発、ウェブサイトの制作・運営などがあり、在宅勤務の具体的な課題として以下を解決する必要がありました。

- 電話・FAX 対応
- メール送受信
- 社内ネットワークへのアクセス
- 打ち合わせなど社員同士のコミュニケーション

1. 会社への電話・FAX は、インターネット電話で対応

前回同様、電話はインターネットを利用した電話（IP 電話）で対応しました。具体的には、会社のノート PC に IP 電話をインストールして自宅に持ち帰り、会社にかかってきた電話を持ち帰った PC で受けられるようにしました。通話はヘッドセットや専用電話端末を使って行います。着信した電話を同じく自宅で勤務している社員やグループに転送したり、会社へ届いた FAX を自動的に PDF 化してメールで送信するシステムも利用しました。

※この IP 電話は、リンクが開発した BIZTEL（ビズテル）という企業向けのインターネット電話で、転送機能や不在応答、FAX をメールで送受信する機能を持っています。

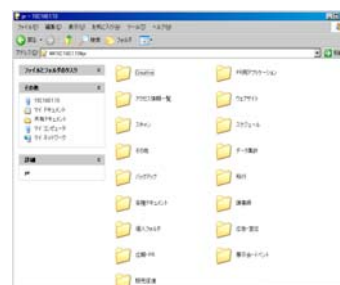


ヘッドセットなどを利用して通話を行います。

2. 社内ネットワークへのアクセスやメールの送受信には、VPN（仮想プライベートネットワーク）※ を利用

自宅から会社のファイルサーバへアクセスしたり、会社のメールを送受信する場合は、データが盗聴されないよう安全な通信環境が必要です。各個人宅から会社までの専用線を引くことはコスト面で現実的ではないため、VPN という仮想の専用線接続のしくみを使い、自宅と会社間で暗号化された通信を行えるようにしました。

※VPN は、Virtual Private Network の略で、専用線で接続したかのような暗号化された通信を行うことができるネットワーク接続のしくみです。当社が開発した「ssVPN」を利用しました。



VPN で安全に接続すれば、リモートデスクトップ機能で会社にあるデスクトップ PC を操作することが可能です。

3. 打ち合わせなど、社員同士のコミュニケーションには、電話会議室やメッセージャーを利用

社員の在席・離席の状態はメッセージャーのステータスで確認することができました。社員同士のコミュニケーション方法としては、メールやメッセージャーに加え、IP 電話の「電話会議室機能」を使用しました。この機能は、決まった番号に電話をかけることで、同時に複数人と通話することができるものです。ヘッドセットを使えば、ハンズフリーで PC の操作を行うことも可能になります。



メッセージャーのステータス表示で在席中かどうかわかります。

【 結果 】

在宅勤務にあたって考えられる基本的な問題はほぼすべてクリア

他の社員が在席しているかどうかが見えないという不安感は多少あるものの、前回に引き続き、2日間とも、出勤時とほぼ変わらない環境で業務を行うことができました。前はメッセージャーだけで行っていたスタッフ同士の打ち合わせも、今回から電話会議室機能を併用することでさらに効率がよくなるなど、さまざまな機能・ツールを組み合わせることで、会社の環境に近い状態で業務を行うことができました。

【 今後の展望 】

育児休暇中や自宅療養中の社員の業務、 複数拠点での事業などさまざまなワークスタイルに低コストで応用可能

リンクでは、今回の在宅勤務方法が、新型インフルエンザのような感染症のパンデミック時に限らず、さまざまな働き方に応用できると考えています。例えば、自宅で育児をしながら、または、怪我や病気の療養をしながら業務を行うことも可能になります。また、複数拠点における事業や海外勤務など場所を選ばない働き方も実現できます。IP 電話、VPN 接続、メッセージャーなどを利用することによって必要な環境を低コストで準備できるため、中小企業であっても手軽に導入可能です。リンクは、これからも引き続き、少子化社会へ向けた育児制度の策定や都市集中型から地方分散型へのワークスタイルの変換などが、簡単かつ低コストで実現できることを発信していきたいと考えています。

■本文中で紹介したサービスの費用

- ・ BIZTEL 初期費用 31,500 円 / 月間利用料 15,750 円ー
- ・ ssVPN 初期費用 21,000 円 / 月間利用料 7,350 円ー

※ at+link 専用サーバサービスでサーバ 1 台の利用が必要です。

在宅勤務における BIZTEL のしくみは、<http://biztel.st/pandemic.html> をご覧ください。

株式会社リンクについて

1987 年設立の株式会社リンクは、スタートより 13 年目を迎えた at+link 専用サーバサービス（専用ホスティングサービス）を軸として、at+link パワーフレックス（クラウド型ホスティング）、at+link コロケーションサービス（新しいスタイルのデータセンターサービス）、BIZTEL（IP ビジネスフォンサービス）、e-select（オンラインモール）、MobileController（ケータイサイト構築ツール）、ウェブ電話（クリックトゥコールシステム）など、さまざまなインターネットサービスを提供しています。詳細は、<http://www.link.co.jp/> をご参照ください。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社リンク

担当：内木場（うちこば）

〒107-0052

東京都港区赤坂 7-3-37

カナダ大使館ビル 1 階

TEL：03-5785-2255

FAX：03-5785-2277

Eメール：pr@link.co.jp

株式会社井之上パブリックリレーションズ

担当：栗原

〒160-0004

東京都新宿区四谷 4-34

新宿御苑前アネックス 6 階

TEL：03-5269-2301

FAX：03-5269-2305

Eメール：linkpr@inoue-pr.com